

## 想定最大規模の降雨に対する洪水浸水想定区域図について

## 1. 作成主体

福島県会津若松建設事務所

## 2. 概要

- 水防法に基づき、想定最大規模の降雨を対象にした、洪水浸水想定区域図の整備を進めている。
- 今般、1/10,000 を超える確率雨量を想定最大規模降雨として設定し、浸水解析を行う。
- 令和6年度中に解析結果等を公表予定（県HP等）

公表済の直轄阿賀川浸水想定

公表済の国土交通省大臣管理区間の浸水想定区域図では、  
①1/10,000を超える確率雨量が採用されています。

	対象河川	想定最大規模降雨
直轄	阿賀川	阿賀川流域の48時間総雨量533mm
	日橋川	日橋川流域の48時間総雨量660mm
	湯川	阿賀川流域の48時間総雨量533mm

⇒いずれも1/10,000を超える確率規模

## 3. 対象河川

旧湯川（管理延長：13.000km、流域面積：83.1km<sup>2</sup>）  
 湊川（管理延長：17.890km、流域面積：58.6km<sup>2</sup>）  
 大工川（管理延長：5.000km、流域面積：12.1km<sup>2</sup>）  
 金山川（管理延長：6.500km、流域面積：8.6km<sup>2</sup>）  
 不動川（管理延長：3.365km、流域面積：9.0km<sup>2</sup>）  
 大土川（管理延長：0.470km、流域面積：3.9km<sup>2</sup>）



## 4. 市の対応

県の解析結果を基に、令和7年度に市ハザードマップへ反映し、市民への周知を図る。